

来場者アンケート 検討・回答、反省

校内研究部

回収38通：ほぼ好意的なものでした。

＜質問＞

・発表の中の課題にカリキュラムマネジメントを挙げていたが、年間指導計画等にプログラミング教育をどのように位置付けているのか。(特にB分類、C分類)

→本校HP、年間指導計画を掲載しています。ご参照ください。

・各学年でどの程度実施するようにしているのか。

→詳しくは、発表会で配布した資料編や本校HPに掲載している「プログラミング教育・年間指導計画一覧表」をご参照ください。

・実施計画作成あたり市教委や都教委からどのような指導・助言があったのか。

→東京都教育委員会から作成の申し出があり、子供の資質・能力を向上させる為の年間指導計画を作成しました。作成にあたっては、立川市教育委員会、指導主事よりご指導いただきながら作成しました。

・1・2年生の情報科は、どの教科でカウントするのか

→本校では、情報科を学校裁量の時間で教育課程上に設けています。

・グループ活動の場合、個の評価はどうするのか

→グループ活動の成果と個人のワークシートから評価しています。

・各企業の協力があれば、ロボット等の教材を数多く揃えられるが、今後契約期間が終了したらこれらのロボットはどうなるのか。ロボット等を揃えるための方法、またはそれに代わる手段はあるか。

→本校の研究発表会で使用した教材はすべて購入したものです。立川市では、立川市教育委員会と立川市立小学校教育研究会情報教育部が連携して教材・教具のモデルパターンを作成するなど、行政と学校が連携して環境整備をすすめています。

・プログラミング的思考の高まりを数値化する方法を教えてください。

→早稲田大学の協力のもと数値化しました。

・プログラミング的思考の“的”とは、問題解決学習や筋道を立てて考えるとの定義でいいのか？

→文部科学省、「教育の情報化に関する手引」作成検討会の原稿案にプログラミング的思考について説明されています。

・学習アプリのようなものを使用しての授業が多かったが、タブレットの配布状況等、自治体によって学習環境が異なる現状があるので、プログラミング的思考の地域格差が生まれるのではないかと。上砂川小学校ではどう考えるか？

→環境整備は、重要な課題の1つであると考えています。行政と学校が連携して、環境整備に取り組んでいくことが大切であると考えています。

《来場者アンケートからのご意見》

- ・ 授業会場がもう少し多い方がよかった。
- ・ タブレットの台数が限られているため、活用する授業に人が集まってよく見えなかった。
- ・ 総合・音楽の1Hのみの公開だったので、前後の学習活動も見てみたいと思った。
- ・ 指導講評は、講師の先生がよかった。
- ・ 研究パネルは実践例をもっとたくさんあるとよかった。
- ・ 対談ではなく、講演だけでよかった。(内容が重複している部分があったので)

《運営面》本研究発表会をどこで知ったか(複数回答あり)

- 1位 貴校内での回覧・告知 9
- 2位 本校ホームページ 8
- 3位 本校以外のWEBサイト 6 (都教委HP, 教科書会社のHP等)